

繋

「繋」 ～ つなぐ ～

これまでの伝統を大切にしながら、東宇治高校生であることに誇りを持ち、未来につなぐ人に育ってほしい。また、人と人のつながりを大切に、協力しながら社会を明るくする人に育ってほしい。という願いをこめました。



京都府立
東宇治高等学校

第 2 学 年 学 年 通 信
第 7 号
令和 6 年 12 月 23 日

“The best competition I have is against myself, to become better.”

(よりよい自分になるための最高の競争相手は自分だ。) ジョン・ウッデン

これは、アメリカの大学バスケットボールの名門 UCLA の監督で、数々の金字塔を打ち立て、世界でもっとも成功したコーチ、そして 20 世紀最高の指導者と称されたジョン・ウッデン氏の言葉です。みなさんにとって、2 学期は 1 年間で一番長く、学校行事などで忙しかった学期ではなかったでしょうか。そのため、希望進路は決定しているはずなのに、受験勉強どころか、日ごろのテスト勉強まで手が回らない状況だった人も多かったのではないのでしょうか。誰もが少し怠けようとする心やそれを正当化しようとする心を持っていて、その原因を自分の外に見出そうとします。「でも・・・」「だって・・・」で身を守るのではなく、正々堂々と自分と向き合い、『自分のやるべきこと』を「熱意」をもって、「勤勉」に取り組んでほしいと思います。

また、彼は、「“成功”とは自分のベストを尽くし、自分になり得る最高の自分を目指し続けたと、自ら思える心の平静をもつことである。」という示唆深い言葉を残しています。1 年後にはまさに受験を迎えています。受験を終えている人もいますが、なかなか合格がもらえず、もがき苦しんでいる人もいます。それでも最後まで頑張って、受験を終えたときに、「自分は頑張れた」と胸を張って言えて初めて、そのひとは受験において“成功”するのです。

挑戦し、努力し続けた先に、自分の追い求める理想の未来があります。周囲と関わりあいながら、より一層高めあえる集団となりましょう。

当面の予定*

12月	23日(月)	終業式
	24日(火)～26日(木)	冬期講習
	28日(土)～1月4日(土)	業務休止日
1月	8日(水)	始業式・GTEC
	9日(木)	冬休み課題テスト(数・国)+木曜3～7限
	24日(金)	短縮校時+英検一次試験
	30日(木)～31日(金)	中間考査

小論文【志望理由書】について



先日の LHR で、志望理由書を書くための講座を2年生全員で聴講しました。一人一人が自分の将来や進学や就職を意識して、ペンを持ってメモをとることができました。まだまだ先のことだった入試などを自分事として捉え、「自分はなぜ看護師になりたいのか」「自分はどのような保育士になりたいのか」などに思いを巡らせ、小論文を書くための準備段階としての自己理解をするきっかけとなりました。

2月7日(金)に小論文模試を受験します。それに向けて、冬休み期間に皆さんには自己理解を深め、それを文章として言葉にさせていただきます。志望理由書は、大学や企業にとって、みなさんの第一印象を決める重要な書類となります。皆さんがこれまでにどんな経験をして、その経験からどのように考えるようになったのか、大学などで何をしたいのか、そしてそこの学びを将来どのように生かし社会に貢献していくのかを伝える手段でもあります。冬休みという自分の時間を自由に使える期間だからこそ、じっくりと深く掘り下げてみましょう。

📄～志望理由書の構成ポイント～✍️

Point1. 目標・意思提示

将来実現したい目標を明らかにする。

- ・どういう仕事をしたいのか、そのためにどういう学問を学んだり、研究したりしたいかを説明する。

Point2. 動機(きっかけ)

目標を定めた動機を説明する。

- ・その目標を定めることとした経験などをもとに説明する。
- ・その目標を実現すると社会にどう貢献できるのか説明する。

Point3. 過程・具体的ビジョン

目標に近づくために大学などで何を学び、どのようなことに活かしていくのか説明する。

- ・社会問題について考え、どのようなことを大学で学びたいのか、どのような仕事をしたいのかを説明する

Point4. マッチ・まとめ

その過程を経るためには、その大学・企業でないといけない理由を説明する。

- ・オープンキャンパスや企業説明会などをもとに、なぜその大学・企業でないといけないのかを説明する。
- ・「将来どのように成長していきたいのか」などの抱負などを述べる。

課題:冬休み中にすること

Point2. 動機(きっかけ)まで考察して、文章にする。

提出日:1月8日(水) LHR